



SHIKOKU UNIVERSITY
四国大学

SUCニュース

Shikoku University Campus 2025.3



ブランドスローガン “人が集まる「人」をつくる、大学。”



学長
松重 和美

学園創立100周年、そして新学部創設へ

今年の徳島の冬は、激寒の日もなく穏やかな日々が続いています。一方、世界は政治、経済の分野、それを取り巻く社会も大きく変動し、予測が難しい時代となっています。今春卒業し、社会に巣立っていく学生の皆さんへの激励の念が一層強くなります。

さて、今年2025年、本学は学園創立100周年を迎えます。既に、特別講演会や広報掲示など一連の関連事業も開始され、11月初旬には記念式典及びホームカミングデー等の開催を予定しています。このところ、全国的に少子化や若者の都会志向が顕著となり、入学志願者の減少傾向が続いていますが、改めて、

知の拠点として、また志ある若者育成そして地域活性化の源泉としての本学の役割は一層重要になると思われれます。本学では、地域社会から多くの要望がある“デジタル人材”の育成を行うべく、生成AIやドローン、データ分析・活用、そして先進のICT(情報通信技術)を体得できる新学部“デジタル創生学部”を2026年4月に開設すべく、施設建築も含め種々準備を進めています。こうした大学の取り組みに、保護者の皆さまには一層のご理解とご支援を賜れば幸甚に存じます。



副理事長
山本 光憲

変わりゆく社会と大学の挑戦

AI技術やデジタル変革が急速に進む中で、社会全体が大きな変革期を迎えています。大学教育も新たな価値観や社会変化への適応力を求められる時代となっており、本学では、2025年度から新カリキュラム「教育改革プログラム」を実施することにより、多様な社会課題への対応力を育むための学内外での多様な学びの機会を積極的に提供してまいります。また、2026年度には新学部開設を予定しており、先行きが不透明で将来予測が難しい時代において、困難を乗り越え社会で活躍する人材の育成をさらに強化してまいります。環境問題や持続可能性への取り組みも進めており、大学全体でSDGs(持続可能な開発

目標)の実現に向けた活動も推進しています。こうした取り組みが、学生の未来の可能性を広げるものと信じております。

本学は本年2025年、学園創立100周年という大きな節目を迎えます。この100年の間、社会は目覚ましい発展と変革を遂げてきましたが、教育の本質は不変です。本学は「伝統と革新の融合」をテーマに、未来に向けて挑戦し続けるとともに、学生たちが成長し、それぞれの夢を実現して社会に貢献できる人材となるよう、大学として最大限の支援を行ってまいります。保護者の皆様には、引き続き温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和6年度 父母会だより



会長
古堅佳奈子

会長あいさつ

立春の候、当地(沖縄)では日本一早く開花する「ヒカンサクラ」が満開を迎え、一足早い春の訪れを感じております。皆さまにおかれましては、ますますご健勝のこととお喜びいたします。今年度の父母会長を務めさせていただいております、古堅と申します。日頃の父母会活動へのご理解とご協力いただき心より感謝申し上げます。

さて、今年度は四国大学が創立100周年を迎える特別な年でございます。これまでの礎を築いてこられた先輩方へ敬意を表し、これから学生の皆さんが輝かしい未来に向け新たな一歩を踏み出していくことでしょうか。大いに期待しております。周年行事に向け、会員の皆さま方のご支援・ご協力をお願いいたします。

また、昨年は地区別父母懇談会へご参加いただきありがとうございました。皆さまと交流を深め、意見交換を行うことができ、とても有意義な時間を過ごすことができました。感謝申し上げます。懇談会では、個別にお子さまの担当教員と直接お話いただくことで、大学での様子をより深くご理解いただける貴重な機会でもあります。来年度も開催を予定しておりますので、ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

今後も皆さまのご子息・ご息女が充実した学生生活を送れるよう、父母会役員一同サポートに努めてまいります。最後になりますが、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。

令和6年度四国大学父母会評議員会及び総会

令和6年6月2日(日)、10時30分から共通講義棟R101教室にて「令和6年度四国大学父母会第1回評議員会」、13時から「令和6年度四国大学父母会総会」を開催しました。長尾辰彦会長の挨拶の後、松重和美学長が挨拶を述べ、続いて前年度事業報告及び決算報告、事業計画及び予算の審議が行われ承認されました。また、役員改選を行い、退任役員へ松重和美学長より感謝状と記念品が贈呈され、古堅佳奈子副会長が新たに会長に就任されました。議事終了後、松重和美学長より「大学の現状と最近の取組について」、安永潔学生支援担当部長より「学生生活について」、大住満寿夫就職キャリア支援課長より「就職状況について」と題して大学の現状報告が行われました。総会終了後には、各学科・科・専攻ごとに、会員(父母)と教員による個別面談が実施されました。



地区別父母懇談会

昨年に引き続き、沖縄県地区をはじめとして、香川県・中国(広島県)地区、高知県・愛媛県地区で地区別父母懇談会を開催しました。各地区別父母懇談会では、古堅佳奈子会長、松重和美学長の挨拶に始まり、全体会・懇談会を実施しました。全体会では、松重和美学長をはじめ安永潔学生支援担当部長、大住満寿夫就職キャリア支援課長が大学の現状報告を行いました。会員(父母)の皆様は熱心に視聴され、有意義な会となりました。全体会終了後は、会員(父母)と教員との学科・専攻別個別面談が行われ、学生の日常生活や成績、進路等についての要望等を熱心に相談されていました。各会場での個別面談待ち時間には、保護者の方向士や学長、職員と話をする場面も見受けられ、親睦を深める良い機会になったのでは

ないかと思っております。来年度も地区別父母懇談会開催を予定しておりますので、今年度出席できなかった方も参加していただけたらと思っております。来年度の開催日程は、下表をご覧ください。申し込みについては、追ってご案内します。



代議員会

令和6年11月9日(土)、午前10時30分から本館3階特別会議室にて、古堅佳奈子会長はじめ役員・評議員、大学側から安永潔学生支援担当部長ら関係者13名出席のもと、初となる代議員会を開催しました。古堅佳奈子会長の挨拶の後、山本光憲副理事長が挨拶を述べ、議事に入りました。議事では、古堅会長の議長のもと、平田潤子学生支援課長より「令和6年度父母会行事」、「大学教育の主な支援事業」について中間報告がありました。中間報告後には、「令和6年度役員(案)」「令和7年度父母会行事(案)」「旅費規程(案)」「父母会案内における紙媒体の廃止(案)(大学HPとLINEビジネスの利用)」について協議がなされました。また、代議員会当日は芳藍祭期間中でもあり、出席された役員・代議員の皆様も学生の屋内展示・模擬店・演技発表等を観覧されました。

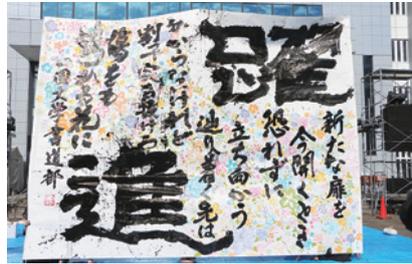
令和7年度地区別父母懇談会日程(予定)

会場	開催場所(予定)	開催日
大 学	学内	R7.6.1(日)
沖縄県地区	バシフィックホテル沖縄	R7.6.22(日)
香川県地区	ホテルパールガーデン	R7.8.30(土)
中国地区	ホテルグランヴィア広島	R7.8.31(日)
高知県地区	ザクラウンパレス新阪急高知	R7.9.13(土)
愛媛県地区	ホテルマイステイズ松山	R7.9.14(日)

第64回 芳藍祭



やろうー“もう1回”が無い芳藍祭～藍色の空へ羽ばたいていけ～



令和6年11月9日(土)～10日(日)に第64回四国大学・同短期大学部芳藍祭が盛大に開催され、模擬店の出店や屋内外での演技、展示発表などを行いました。

前夜祭(音楽ホールで開催)は、ダンスや歌唱、パフォーマンスの各部門においてステージ上で白熱した演技を披露し、その中で審査に勝ち上がった上位2組が11月10日(日)のエキシビジョンに出場する権利を得ました。また、屋内発表、演技発表、模擬店も昨年より参加団体が増加し、熱の入った演技や様々な工夫を凝らした展示、活気あふれる模擬店での販売を行いました。

11月9日(土)には特別公演として「新生・ほう楽☆ガールズ徳島」のLIVE、落語家「桂 七福」氏による落語公演を音楽ホールで開催しました。また、30周年記念館前ステージでは「KALMA」スペシャルライブが開催され、大いに盛り上がりました。

今回の芳藍祭での各表彰・奨励賞の受賞者に皆さんは次のとおりです。おめでとうございます。最後に、芳藍祭の開催、運営にご協力いただきました企業、団体の皆様および地域の皆様ならびに保護者の方々に深く感謝申し上げます。

第64回 芳藍祭表彰一覧

テーマ・サブテーマ発案 書道文化学科1年 石原 実侑

表紙・ポスターデザイン発案 人間生活科学科1年 鳥海 果蓮

〈前夜祭〉

部門	賞	受賞者	備考
ダンス	最優秀賞	charm (チャーム)	ダンス部
	優秀賞	Grazia (グラツィア)	ダンス部
歌唱	最優秀賞	しゅんなつ	西浦 夏花 (人間生活科学科2年)
	優秀賞	レイシオ	宮崎 優 (人間生活科学科1年)
パフォーマンス	最優秀賞	HAPPYMAKERS	ジャグリング部
BEST Costume (ベストコスチューム)		千光士 鞠花	人間生活科学科2年

〈大学祭〉

部門	賞	受賞者	備考
総合	同窓会長賞	人間生活科学科 心理・養護コース	生活習慣マスター になろう!
屋内発表	最優秀賞	人間生活科学科 公認心理師コース	心理テスト
	優秀賞	国際文化学科3年×DISAC ×JAL	展示
演技発表	最優秀賞	吹奏楽部	演奏
	優秀賞	エアロビック・チアダンス部	演舞
	優秀賞	二大踊り	阿波踊り部・沖縄県人会
模擬店	グッドブース賞	女子バレーボール部	水餃子スープ
	グッドスマイル賞	健康栄養学科	パウンドケーキ



総合部門



同窓会長賞

人間生活科学科
心理・養護コース



屋内発表部門



最優秀賞

人間生活科学科
公認心理師コース



優秀賞

JAL×
国際文化学科×
DISAC



GOOD

演技発表部門

最優秀賞

吹奏楽部



優秀賞

Yes!
エアロビック・
チアダンス部



優秀賞

三大踊り(阿波踊り・エイサー)



模擬店

HAPPY



グッド
ブーズ賞

女子バレーボール部

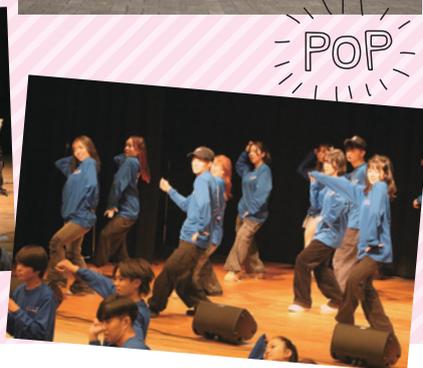


グッド
スマイル賞

健康栄養学科



ステージ・音楽ホール



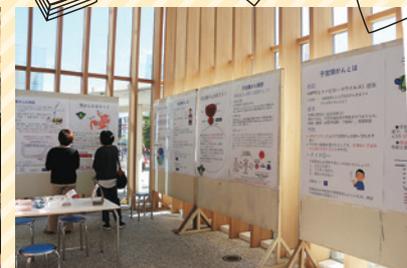
POP



模擬店



屋内展示



芳藍祭の開催に対してご協力、
ご支援いただき、ありがとうございました！
運営委員のみなさんも
お疲れ様でした



体育系クラブでの活躍

● 陸上競技部 ●

第108回日本陸上競技選手権大会

女子走幅跳で初の表彰台!

令和6年6月27日(木)~30日(日)に新潟県のデンカビッグスワンスタジアムにおいて、「第108回日本陸上競技選手権大会(日本最高峰競技会)」が開催され、女子走幅跳に出場した木村美海(院/経情2)が3位入賞を果たしました。本大会における跳躍種目の表彰台は本学初の快挙となりました。また、同日に「第40回U20日本陸上競技選手権大会(20歳未満全国大会)」も開催され、U20男子走高跳に出場した永瀬裕大(経情2)が全国優勝を果たしました。同じく、跳躍種目の本大会の優勝は本学初の快挙となりました。



令和6年9月19日(木)~22日(日)には、神奈川県内の等々力陸上競技場において、学生最高峰の競技会である「第93回日本学生陸上競技対校選手権大会(全日本インカレ)」が開催され、女子三段跳に出場した岸野美雨(院/生活2)が4位入賞を果たしました。この入賞により、本学は全日本インカレ9年連続入賞を達成しました。引き続き、連続入賞を目指して活動していきますので、応援の程よろしくお祈りします。

● 弓道部 ●

第70回中四国学生弓道選手権大会

男子団体 2年連続入賞

令和6年10月18日(金)~20日(日)に第70回中四国学生弓道選手権大会(香川県・香川県立総合体育館)に出場し、男子団体戦において準優勝し、令和7年度全国大学弓道選抜大会(東京・明治神宮中央道場)に中四国地区代表として出場権を獲得しました。個人戦においても、南 優来(健栄2)が接戦をものにして優勝し、団体・個人両方で入賞いたしました。その他、第74回四国地区大学総合体育大会(令和6年7月6日(土)~7日(日)・高知)では男子団体で射道優秀校、女子個人戦で坂東瑞季(経情1)が準優勝、男子個人戦で山崎竜希(メディア3)が第3位に、第75回三十三間堂大の全国大会(令和7年1月12日(日)・京都)では女子の部で落合南海(音楽2)が優勝するなど数々の大会で入賞することができました。



今年度は、個人での活躍が多かった年ですが、来年度は個人の活躍と共に、団体も全ての大会で上位入賞ができるように日々練習に取り組んでいきます。

● ソフトテニス ●

令和6年西日本学生ソフトテニス選手権大会

同校対決を制した上田・八島が創部初の西日本学生チャンピオンに輝く!

令和6年7月5日(金)~9日(火)に三重県津市・桑名市にて開催された「西日本学生選手権大会」において、3年ぶりの王座奪還を目指した女子大学対抗戦(団体戦)ではベスト8止まりとなるも、翌日に行われた女子個人戦ダブルスにおいて上田(管栄4)・八島(人間生活2)ペアと岡田(健栄3)・逸見(メディア2)ペアが前日の悔しさをバネに快進撃を続け、同校対決となる決勝戦が実現しました。接戦を制した上田・八島ペアが同大会個人戦において創部初の栄冠に輝きました。



また、11月1日(金)~4日(月)に愛媛県今治市にて開催された「第70回中国・四国学生ソフトテニス選手権」では女子大学対抗戦および女子個人戦(岡田・八島ペア)の優勝に加え、144ペアがエントリーした男子個人戦を藤井(経情2)・工藤(児童2)ペアが見事に勝ち抜き、同大会男子個人戦において初優勝を果たしました。

● バレーボール部 ●

四国大学秋季リーグ戦

全勝優勝 3連覇達成!

令和6年10月26日(土)~27日(日)に香川県で開催された「第60回四国大学バレーボール秋季リーグ戦」において、I部で全勝優勝し、四国の頂点に立ちました。春季リーグ戦と秋季リーグ戦の結果により、四国学連からの出場枠が2大学と限られている「第71回 秩父宮妃賜杯全日本バレーボール大学女子選手権大会(全日本インカレ)」の出場権を獲得し、大会では、全国の強豪チーム相手に善戦、健闘しました。



また、令和6年12月20日(金)~22日(日)に奈良県で開催された「西日本大学バレーボール学連女子選抜対抗戦」には、本学から3名が選抜メンバーに選出されました。他学連の選抜チームと対戦し、多くの学びを得ました。

来年度は今年以上の結果が残せるよう、より一層邁進していきたいと思っております。

● 女子サッカー ●

第33回全日本大学女子サッカー選手権大会四国大会

令和6年11月3日(日)に鳴門球場(鳴門市)で「第33回全日本大学女子サッカー選手権大会四国大会」が行われました。インカレ代表決定戦となる四国大学と徳島文

理大学との対戦は、1-2で敗退し出場権を逃しました。昨年に引き続き、インカレ全国大会出場を逃しました。来年度は、タイトル奪還、そして、インカレベスト8を目指してチーム一丸となり頑張ろうと思います。



● 女子ラグビー ●



令和6年4月に開催された、関西セブンズ大会を皮切りに「太陽生命ウィメンズセブンズシリーズ昇格大会」、「全国大学女子ラグビーセブンズ大会」等に参戦しましたが、最高順位が5位という悔しい結果となりました。しかし、敗戦からの学びも多く、マインドセットやフィジカル準備の重要性、ゲーム中での修正力等、次世代のチー

ムに残せる課題と経験も多くありました。多くの反省からオフシーズンには、フィジカルとスキルのファンダメンタルや、メンタル部分のさらなる向上を図り、来シーズンに良い結果が報告できるよう準備し計画実践しています。今後とも、応援していただけますよう、よろしくお願いいたします。

● 水泳部 ●

令和6年8月30日(金)～9月1日(日)に滋賀県の草津市立プールにおいて「第100回日本選手権水泳競技大会(飛込競技)」が開催され、森岡さくら(児童4)が女子1m飛板飛込で初優勝し、日本一に輝きました。また、女子3m飛板飛込でも3位入賞を果たし、飛込競技日本最高峰の大会で2度表彰台に登りました。



文化活動における活躍

生活科学部 人間生活科学科 デザインコース

2024年(令和6年)に人間生活科学科デザインコースの学生が下記の公募展に出品し受賞及び入選しました。特に二科展デザイン部門では、デザインコースで初めての大賞を受賞し今後の活躍が期待されます。表記は公募展開催時の学年です。

第108回 二科展デザイン部門(フリースタイル部門)

フリースタイル大賞



小川 日菜(4年)



入選

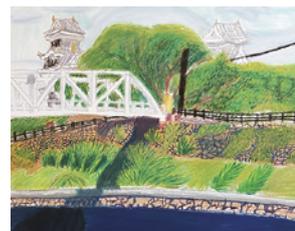


酒井 麻衣(3年)

第52回 徳島市芸術祭美術展洋画部門

徳島市文化振興公社賞

藤井 寛喜
(2年)



第29回 全日本高校・大学生書道展

令和6年8月21日(水)～25日(日)の5日間、兵庫県立美術館王子分館原田の森ギャラリーにおいて公益社団法人日本書芸院・読売新聞社「第29回全日本高校・大学生書道展」が開催され、書道文化学科が大学(団体)の部で最優秀校(全国1位)に選ばれました。個人各賞には計55名(全63点)が入賞し、書道展大賞は【漢字】北村詩(3年)、木許花音(2年)、【かな】新垣祐樹(4年)、井原みく(2年)、川村成太郎(2年)、【調和体】乃村汐奈(3年)、森元陽莉(1年)が受賞しました。

また、25日(日)には、ホテルオークラ神戸で授賞式・祝賀パーティーが開催され、本学学長、書道文化学科の教員、学生の計32名が出席しました。書道展大賞・書道展賞・優秀賞に選出された作品は公益社団法人日本書芸院HPにて、VR展示公開中です。ぜひご覧ください。

第52回 徳島市芸術祭美術展 デザイン部門

徳島新聞社賞



小林 梨々奈
(1年)

徳島市文化振興公社賞



小川 日菜
(3年)

徳島市文化協会長賞



天羽 莉菜
(1年)



英語スピーチコンテスト

学内の全学生を対象とした英語スピーチコンテスト「吉野川杯」およびレシテーションコンテスト「眉山杯」が、令和6年12月10日（火）、本学国際文化館 L201 講義室にて開催されました。オリジナル・スピーチ部門と、課題スクリプトを暗誦するレシテーション部門を合わせ、全学から13名が参加しました。50名ほどの聴衆を前に、それぞれが日頃の練習の成果を披露しあい、審査の結果、各部門で以下の学生が表彰されました。祝意を表すと同時に、参加者全員の今後一層の活躍を期待したいと思います。

スピーチコンテスト「吉野川杯」

- 第1位 Ako Miyamoto,
“Me, My personality and AI?” (国際3)
- 第2位 Aiko Hanatani,
“From Loneliness to Connection” (国際2)

- 第3位 Ahmed Rana,
“Living in Tokushima : My Journey as an International Student” (メディア1)

レシテーションコンテスト「眉山杯」

- 第1位 Maho Shimomura,
Obama : The Hiroshima Speech (国際2)
- 第2位 Michiru Abe,
Shakespeare : *Romeo and Juliet* (国際1)
- 第3位 Hime Maeda,
Shakespeare : *Romeo and Juliet* (国際1)
- 特別賞 Ayaka Mori,
Shakespeare : *Romeo and Juliet* (日文3)



四国大学 学園創立100周年

学校法人四国大学 100周年記念事業
ロゴマーク・スローガン



学校法人四国大学は2025年11月4日、学園創立100周年をむかえます。これを記念し、次のような事業を実施します。

【学校法人四国大学学園創立100周年事業】

- 記念式典・記念講演会の開催
- 記念誌編纂
- 記念ロード整備(県道39号からの進入路)
- 記念モニュメント制作
- 記念施設整備
- 記念イベント・特認教授リレー講演等

次の100年に向かう新たな一歩として、情報科学や経営の最新知識を活用し、実社会での諸課題の解決や新たな価値創造に取り組むことのできる「実践的デジタル人材」を育成する新学部「デジタル創生学部(仮称・設置構想中)」を2026年4月に開設する予定です。

本年は様々な100周年記念事業を実施し、在学生、保護者、卒業生をはじめ本学に関係する皆さまに感謝をお伝えするとともに、教職員一丸となり、100年後の四国大学を考え、未来を創る1年としたいと思います。

私どもの想いや志をご理解いただき、ご寄付・ご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



2024年11月4日徳島新聞朝刊に全面広告を出稿しました

学園創立100周年記念サイト
当法人へのご寄付はこちらから



キャリアセンターだより

企業業績の回復や少子高齢化の中で、「売り手市場」といわれる大学生の就職戦線では、各事業所とも人材確保に躍起になっているのが現状で、学生たちに大きな影響を及ぼしています。その影響をまとめると次の2点です。

一つは、就職活動の早期化です。政府の方針として、就職・採用活動の円滑な実施、学生たちの学業に専念できる環境確保のため、広報活動の開始日を卒業・修了年度の3月1日、採用選考活動の開始日を6月1日以降と定めていますが、各企業では優秀な人材を確保しようと選考活動が早期化し、その結果、学生たちの就職活動期間は長期化しているのです。各大学では、夏のインターンシップ等への参加を受けて、後期に入ると「早期選考」「早期内々定」に関する相談が増えてきています。本学も例外でなく、10月の後半になるとキャリアセンターを訪れる学生は、4年生と3年生が入り混じります。ちなみに大手就職情報誌(学情)の調査によると、就職活動の準備を開始したのは、大学3年生の4月からが最も多く30.8%(2026卒)で、前年より4.6ポイント高くなっている現状です。

早期化から波及しているのが、インターンシップ等のあり方です。令和5年度から国のインターンシップに関する方針が変わり、タイプ1～4に類型化されました。タイプ1は「オープン・カンパニー」、タイプ2は「キャリア教育」、タイプ3は「汎用型能力・専門活用型インターンシップ」、タイプ4が「高度専門型インターンシップ」となり、特に5日以上のタイプ3・4を実施した企業は、それを広報活動や採用選考活動に使用できるようにしました。そのため、5日以上の就業体験を「インターンシップ」と呼び、実施時期も早まり、学生にとっては3年生の夏季休業を利用したインターンシップ等への参加が求められます。

こうした就職戦線へ学生たちは対応しなければなり

(別表)就職支援関係行事

月	行 事
4月	学科別オリエンテーション
	教員・公務員試験対策講座開始
	第1回就職ガイダンス
	四国大学インターンシップ説明会①
5月	インターンシップセミナー
	業界・職種・企業研究セミナー
	自己分析・エントリーシート作成講座
6月	四国大学インターンシップ説明会②
	公務員対策ガイダンス
	Webテスト対策セミナー
7月	グループディスカッション・面接対策講座
	四国大学インターンシップ説明会③
9月	大学2年生対象就職ガイダンス
	教員・公務員対策夏季特別講座
9月～	後期教員・公務員試験対策講座開始
10月	ジョブハンティングシステム登録説明会
	教員対策ガイダンス
	第2回就職ガイダンス
11月	第1回ジョブセミナー
	第2回ジョブセミナー
12月	学内企業研究会
	学内企業研究会
1月	第3回就職ガイダンス(就活直前セミナー)
2月	教員・公務員採用模擬試験
	就活トライツアー事前セミナー
3月	就活トライツアー(マイナビ就職 EXPO)
	教員・公務員春季特別講座
	教員・公務員採用模擬試験

ません。どこから始めていいのか、いつからどう行動すべきかなど戸惑う学生も少なくありません。従って、学生たちには私たちキャリアセンターが開講している各種ガイダンスやセミナー等への参加をはじめ、キャリアセンターを利用することで、より効果的な就職活動を進めてほしいと思います。本年度は延べ1,511名(12月末現在)の学生の皆さんが、進路相談や面接練習等に利用してくれています。この数字は昨年度1年間の数字に匹敵します。これから6月にかけては、特に利用者が増加する季節です。また、キャリアセンターでは、就職指導を行う5名の職員に加え、3名のキャリアカウンセラー(女性)及びハローワークの方も事業所紹介や就職活動の方法、面接指導等を行って来ています。キャリアセンターが実施している各種セミナーやガイダンス、また講座や面談等を十分に活用し、それぞれの夢の実現に向け、効率よく就職活動を進めてほしいと思います。明日からでなく、今から行動しましょう。

◇第1回就職ガイダンス(実施日: 4月17日(水))

年間3回実施している「就職ガイダンス」、第1回目は3年生を対象に、就職活動の現状や具体的なスケジュール等について説明し、学生自身がどう考え、どう行動すればいいのかについて理解を深めました。大講義室の座席数が足りないほどの参加があり、熱い視線が講師に注がれました。また、本学では学生たちが就職活動の道標として活用できるよう就職活動のバイブルともいえる冊子「就職の手引き」を毎年リニューアルして学生に配布しています。



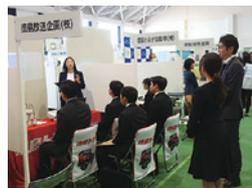
◇Webテスト対策セミナー(実施日: 6月19日(水))

昨年までの「SPI対策講座」を、新たに「Webテスト対策セミナー」として開講しました。情報処理教室では、講師の熱心でわかりやすい説明を聞き逃すまいと学生たちは真剣に取り組み、パソコンと向き合いながら作業を進めていました。こうした一つ一つの学びが学生自身の就職活動をスムーズに、また有利に進めることに繋がります。



◇学内企業研究会(実施日: 12月4日(水))

学生の業界・職種・企業研究をより深化させる「学内企業研究会」を、12月4日(水)に本学体育館で開催しました。本年度は、95の事業所に参加いただき236名の学生が参加しました。参加学生一人当たりの訪問企業数は3.8社でした。各ブースでは、学生たちが熱心に説明に耳を傾け、活発な質疑応答が行われるなど充実した1日となりました。



「きみのやる気を応援します！」

令和6年度 四国大学学生プロジェクト支援事業(学生GP)

令和6年度学生プロジェクト支援事業では、14件のプロジェクトが採択されました。芳藍祭期間中にパネル展示による中間報告を行いました。

今年度も多くのプロジェクトチームから学生目線での企画提案があり、採用された各プロジェクトはその目的を果たすべく多種多様な活動を展開し、教育・研究や地域貢献など多岐に渡る分野で活動に取り組んでいます。今年度の全プロジェクトの成果報告として、令和7年3月7日(金)に活動報告会を開催する予定です。



認証式



蒲公英



地域経済・未来教育研究部
喜来小学校にてサポート



なると探検隊～世界にはなて魅力発信～

◆ 四国大学後援会総会開催 ◆

11月8日(金)、令和6年度後援会総会が、会長をはじめ役員・会員17名、大学側から松重学長他関係者12名の出席のもと開催されました。議事では、令和5年度決算報告、令和6年度予算案、役員改選などが審議され、原案どおり承認されました。次に、大学の現状報告として松重学長から「大学の現状と最近の取り組みー百周年、特徴・魅力ある大学にー」と題して、四国大学のブランディング事業、各種スポーツ大会での活躍、大学改革と今後の視点、四国大学DX推進計画、令和8年設置構想中のデジタル創生学部などについて報告がありました。最後に、田尾大学広報戦略室長より100周年記念事業の概要について説明があり、ご寄附のお願いがありました。

会員からは後援会に寄せる活発なご意見をいただき盛会裡に終了しました。



SHIKOKU UNIVERSITY

OPEN 2025

CAMPUS

君の未来！

第1回 4.20 sun	第2回 6.8 sun	第3回 7.6 sun	第4回 7.27 sun	第5回 8.23 sat	第6回 11.8 sat
--------------------	-------------------	-------------------	--------------------	--------------------	--------------------

開催時間 各10:00～15:30

文学部

- 日本文学
- 日本文学
- 日本文学
- 日本文学

経営情報学部

- 経営情報学
- 経営情報学
- 経営情報学

デジタル創生学部

- デジタル創生学(夜)
- デジタル創生学(夜)
- デジタル創生学(夜)

生活科学部

- 人間生活科学
- 人間生活科学
- 人間生活科学

看護学部

- 看護学
- 看護学
- 看護学

短期大学部

- デジタルコミュニケーション
- デジタルコミュニケーション
- デジタルコミュニケーション

100 SHIKOKU UNIVERSITY

四国大学 広報課 TEL: 0120-65-9906

四国大学 オープンキャンパス 検索